

議会だより

2022.11

No. 71



9月24・25日に開催されたびわこジャズ東近江2022

Contents

正副議長あいさつおよび新体制の紹介	2
一般質問	3
常任委員会行政視察報告	14
議案の審議結果	15

一般質問

9月8日、9日、12日に20人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁の概要をお知らせします。また、議会ホームページでは、インターネットによる動画配信も行っています。



QRを読み取ることで、各議員の質問の様子を映像にてご覧いただけます。

Q 日本トイレ協会のアンケート

① 太陽光発電パネルについて、
①本市の住宅用太陽光発電システム設置奨励金の概要は。
②災害廃棄物処理計画に基づく廃棄への対応は。
③感電や落下の危険性など消防活動上の留意点と消防団員への周知は。
A ①自らが居住する市内の自己用専用住宅などの敷地または建物に、市内に所在する業者と契約または施工を行った住宅用太陽光発電システムを設置した場合に、1世帯に1回限り4万円を限度に支給します。
②自宅が被災したことにより発生した家庭用太陽光パネルは、市が設置する災害廃棄物の仮置場への搬入を行った後、適切に保管および処分を行います。
③消火活動で起こり得る危険性について、具体的に想定して行うよう消防団幹部に周知しています。



多目的トイレに設置されたサニタリーボックス (左下)

ト調査によれば、尿漏れパットや紙パンツを使う男性の7割が捨てる場所がなくて困ったと回答しているが、市役所の男性トイレの個室にサニタリーボックス(汚物入れ)を設置できないか。
A 管理上、個室への設置は考えていませんが、スペースも広く交換作業がしやすい多目的トイレにサニタリーボックスを設置します。



公明党
太陽光パネルの普及と課題
吉坂 豊



安全・安心なまちづくりを目指して

議長 大橋 保治
副議長 西村 和恭

このたび、東近江市議会の議長ならびに副議長に就任し、身に余る光栄であると同時に、その職責の重さを痛感し身の引き締まる思いであります。

議会の代表として愛する東近江市のため粉骨碎身の覚悟で、公正かつ円滑な議会運営に取り組んでまいります。

二元代表制の一翼を担う議会の責務は大変重要であります。市長と議会が向かい合い、常に緊張感を持ちながら建設的な議論を重ね、市民福祉のさらなる向上や活力のあるまちづくりを目指して、市政発展のために取り組んでまいりたいと考えます。

また、コロナ禍の厳しい社会経済状況ではありますが、活力と魅力ある、安心して暮らせるまちづくりを市民の皆さまとともに進めていく所存です。

近年まれにみる線状降水帯による大雨や巨大地震など、予期せぬ災害に議会としても迅速に対応できるように、議会BCP(東近江市議会業務継続計画)を活用し、市民の安全・安心のため災害に強いまちづくりを目指します。

私たち市議会議員は、力強さと溢れる情熱を持って、常口頃から、威風堂々と

活動し市民の負託に応えるべきだと考えます。

今後とも、市民の皆さまのさらなるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



新体制の紹介

議長 大橋 保治 副議長 西村 和恭 監査委員 田井中 丈三

所属する委員会の名称	東近江市民クラブ										太陽クラブ		日本共産党		公明党		新政無所属		無党派						
	森 鉄兵	浅居 笑	山本 直彦	青山 孝司	鈴木 則彦	西村 和恭	田井中 丈三	森田 徳治	西崎 彰	西澤 由男	和田 喜藏	市木 徹	大橋 保治	櫻 直美	辻 英幸	戸嶋 幸司	安田 高玄	廣田 耕康	山中 一志	田郷 正	吉坂 豊	竹内 典子	中村 和広	井上 均	大洞 共一
議会運営委員会			●	●	●			◎	●							○				●	●			●	
予算決算常任委員会	●	●	●	●	●	●	●	○	●	◎	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
総務常任委員会			○			◎	●		●					●					●						
福祉教育こども常任委員会	●		◎								●		●						●		○			●	
産業建設常任委員会				◎				●		●							●	●			○		●		●
河川整備推進特別委員会	●			○			●	●					●							◎					●
(仮)黒丸SIC文化スポーツ学研ゾーン整備計画調査特別委員会	●		○	◎								●		●							●	●		●	
議会だより編集委員会	●	●			●	◎		○						●	●		●				●	●		●	

◎委員長 ○副委員長 ●委員



公明党

デジタル障がい者手帳導入を



Q 障がい者手帳を提示することによって、交通機関や施設利用に対してサービスを受けることができる。

身体障がい者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳の情報をスマートフォンで表示するアプリがある。これにより紙の手帳を持ち歩く必要がなく、手帳を提示するという心理的負担がない上に、破れることや失くしてしまうという心配もない。

A デジタル障がい者手帳を導入するべきでは。

A 障がい者手帳によるサービスを活用することにより、日常生活の利便性が向上し、社会参加が促進されます。

アプリから手帳の種別に応じた情報を得られ、利便性も高いため、利用に向けた周知を図っていきます。



竹内 典子



Q 軽自動車などは4月1日時点での所有者に軽自動車税種別割が賦課されている。

中古軽自動車の中には、一時的に販売業者が自己名義にして商品車として展示・在庫している場合があるが、こうした商品であって使用しない軽自動車などに対しては軽自動車税種別割を課税免除してはどうか。

A 現在のところ課税免除の対象となる車両の範囲を拡大する考えはありませんが、近年の他府県自治体での取り扱いや今後の県内市町の動向に注視していきます。



東近江市民クラブ

御河辺橋を市のランドマークに



Q 御河辺橋の架け替え、周辺道路の整備について、

①橋をランドマーク的なデザインにする考えは。
②今後のスケジュールは。
③公共事業の推進において同時にまちを創造することについての市の基本的な考えは。

A ①愛知川に架かるいくつかの橋には、高欄や親柱に特色のある装飾が施されている事例もあります。

施工の可能性を費用面も含め県と検討していきます。

②現在、県において御河辺橋は橋梁計画箇所の土質調査を終え、今後は詳細な設計を進められる予定です。

また、県道雨降野今在家八日市線の御河辺橋から中岸本交差点までの延長約2キロメートルについては、現在、道路整備の支障となる物件などの調査が行われており、令和6年度に詳細な設計と一部の用地取得が行われる予定です。



改修が待たれる御河辺橋



東近江市民クラブ

誰にもやさしい公共交通を



Q 東近江市地域公共交通計画について、

①策定する必要性と期待される効果は。

②運転免許証の自主返納者へ、公共交通の利用転換を促す取り組みは。

A ①公共交通は重要な都市基盤であり、将来にわたって維持継続していくためのマスタープランが不可欠であることから、この計画を策定しました。

まちづくりには不可欠なライフラインとして位置づけることで、施策の推進に必要な支援を国などから有利に受けることが可能になります。

②ちよこつとバス新路線の運行や、ちよこつとタクシー運行エリア地域の大幅拡大、各種無料乗車キャンペーンなど、運転免許を返納した後も不安なく気軽に公共交通を利用していただくためのさまざまな工夫を重ねているところです。



ボランティアによる芝刈り作業(箕作小学校)

Q 小学校の校庭の芝生化について、課題と今後の対応は。

A ボランティアの高齢化や人員不足、年数の経過による芝生の剥げ、雑草の増加、散水設備の劣化などの課題があります。

対策として、専門業者の指導を仰ぎ、作業の効率化による負担軽減を図るなど地域の方々に関わってもらいやすい環境を整えるとともに、状況に応じたメンテナンスを行い適切な維持管理に努めていきます。



東近江市民クラブ

発見「エジソンからの手紙」



Q 「エジソンからの手紙」の発見について、

①手紙の一般公開だけでなく、ガリ版とコラボした事業展開は。
②県は多くの事業について市との連携に言及しているが、市の考えは。

A ①印刷業界や観光部局などからは、国立科学博物館のデータベースへの登録や他館への資料提供、東京日本橋にある「ここ滋賀」からは、エジソンの手紙と共にガリ版の歴史を紹介する展示企画などの提案をいただいています。

市では、来年度、エジソンの手紙を含むガリ版伝承館の興味深い資料を紹介する特別展示を予定しています。

②県立美術館や図書館での展示やガリ版体験など、県から前向きな考えが示されたことを受け、市としてもこれを好機ととらえ、県と共に、ガリ版文化の一層の魅力発信に努めます。



Q ガリ版伝承館の活用方法、指針についての見解は。

A ガリ版文化の聖地、すなわち日本の印刷産業史における貴重な場所として、ガリ版文化の魅力を発信する拠点です。

今日まで市が人と予算を投じ、ガリ版文化の灯を消すことなく懸命に取り組んできた経緯も踏まえ、今後も継続してガリ版文化の継承に取り組んでいきたいと考えています。



東近江市民クラブ

西崎 彰

風水害時の体制は



Q 風水害時の本市の活動体制の内容や人員配置、指揮命令者は。

A 警戒1号体制は、大雨などに関する警報が1つ発表されたときに職員自らの判断で参集し、職員34名が出動します。

警戒2号体制は、大雨などによる警報が2つ以上発表されたときに総括班長の指示により招集し、職員83名が出動します。なお、状況により145名まで増員します。

災害警戒本部は、大雨に関する警報が発表され、災害が発生または発生すると見込まれるときに、本部事務局部長の指示により招集し、職員は162名体制に移行します。

災害対策本部は、大規模な災害が発生または発生すると見込まれるときに、災害警戒本部の部長である副市長の指示により招集し、職員は174名体制で、災害対策本部の部長は市長となります。



東近江市民クラブ

大橋 保治

駅前観光交流施設に期待



Q 八日市駅前に建設中の複合ビルに整備される観光交流施設について、

①市民と来訪者との交流に関する具体的な事業は。

②来訪者への観光案内をスムーズに行う取り組みは。

③指定管理の期間について、見解は。

A ①八日市駅前観光交流施設は、交通結節点である八日市駅を生かした市民と来訪者との交流を促進するとともに、中心市街地のにぎわい創出を目指し準備を進めています。

具体的には観光や物産情報の提供、駅前で入りやすく集いやすい空間の提供で交流促進につながるかと考えています。地域の関係団体との連携、イベントの開催などで交流の機会を増やしたいと考えています。

②従業員が対面により案内や相談に応じます。また、タッチパネル式の観光モニターを備え、来訪者自らが観光情報を取得で



きる環境も整えます。

③安定的に継続した運営が求められること、観光物産の案内などをするためにはノウハウの蓄積が必要であることから、指定管理の期間を5年にしました。

また、自主事業としての飲食事業などについては、投資効果が表れるまで時間が必要なることを踏まえ、運営の安定を考慮した結果です。



東近江市民クラブ

鈴木 則彦

足りないぞ 駐車場



Q コストコの集客力と近江鉄道の資産を利用して中心市街地を一層活性化していけるのではないかと考えるが、

①中心市街地の駐車場の不足していると思うが、市が管理または所有する駐車場の総台数は。

②法定協議会で近江鉄道線は上下分離方式による公設民営化が合意された。現在の議論内容は。

③近江鉄道が所有する資産は上下分離によって今後どう移管・管理されるのか。

A ①八日市金屋駐車場47台、八日市本町駐車場21台の計68台です。

②運行業務を近江鉄道株式会社が行い、線路、車両、施設などの資産管理は県と沿線市町が施設管理団体を設立し担っていくことが確認されています。

③土地、建物、車両など膨大な対象物があります。今年度末を目途に施設管理団体、沿線市町が譲渡を受ける物件の整理や選定がされています。



八日市駅周辺

Q 各家庭で年々廃棄される古い写真を市役所・図書館・コミセンなどで収集保管活用することにより「共有財産としての価値と認識」を高めることができないか。

A 歴史資料として活用可能な写真は、できる限り収集、保管、活用し歴史の足跡をたどる大切な財産として今後のまちづくりに生かせるよう努めていきます。



東近江市民クラブ

森 鉄兵

文化芸術振興プランの策定を



Q 昨年の12月議会において提言した文化芸術振興プランについて、その後の策定に向けた議論は。

A 1月から担当課レベルで議論を始め、その中では文化政策は中長期的な方針に基づく取り組みが重要との認識から、文化芸術の振興に向けた方針となる計画が必要との結論に至っています。今後、文化芸術振興プランの策定に取り組みたいと考えています。

Q 八日市文化芸術会館とあかね文化ホールについて、

①市ホームページに芸術文化関連施設として記載されている理由と、他の施設との違いは。

②施設の維持管理状況は。

A ①条例の設置目的に文化芸術の振興が位置付けられているとともに、本格的な舞台芸術が公演、鑑賞できる設備であることから、芸術文化関連施設として記載しています。



八日市文化芸術会館

②八日市文化芸術会館は平成20年度に、あかね文化ホールは平成28年度に大規模改修・耐震補強工事を実施しました。

昨年度、八日市文化芸術会館については音響舞台装置を更新しましたが、建物は築41年が経過し、老朽化が進んでいること、合併後の市の規模としては施設、駐車場とも狭隘であることから、近い将来、整備が必要であると考えています。



東近江市民クラブ

山本 直彦

地域の食を守れ



Q 食料危機が目前となってきたが、

①市内農産物のタネの海外依存度は、

②今年度後半以降の食品価格の見通しは、

③今年度後半以降の肥料、農薬、資材調達の見通しは、

④都市と農村における自治体間の産直提携を強化すべきでは、

A ①米・麦・大豆は全て国内産で、野菜は生産コストや気候風土などの関係から多くを海外で生産しており、約9割を輸入している状況です。

②ロシアのウクライナ侵攻や新型コロナウイルス、気候変動など複数の要因により食料危機が深刻化しており、現在の円安基調も相まって、食料の多くを輸入に頼る我が国では、引き続き厳しい状況が続くのではないかと考えています。

③JA全農によると、肥料原料はこれまで輸入主要国であった中国、ロシア、ベラルーシから



産直提携の視察の様子

の調達が困難になっていることから、肥料の確保に向けた多角的な調達を進めており、価格の高止まりはあるものの順調に推移しているとのこと。

④産地側である農村は農産物の安定した販路が確保でき、消費側である都市は安定して農産物の供給が得られ、双方にメリットがあると考えられます。市内産農産物について提携が可能な自治体があれば、積極的に検討していきたいと考えています。



東近江市民クラブ

市木 徹

市政発展の好機



Q (仮称)黒丸SIC設置は、文化スポーツ学研ゾーンの価値観や利用者的大幅増も見込める。この2つの事業の調整はできているのか。

A 現在の布引周辺は住宅団地、工業団地、大学、総合運動公園、近江鉄道駅など、生活環境が整ったエリアです。

今後の(仮称)黒丸SIC開業を見据え、さらに新たなまちのにぎわい創出を図る絶好の機会と捉えています。

文化スポーツ学研ゾーンの庁内検討部会には都市整備部も参画し、情報共有を行っており、最終のSIC設置計画と重ね合わせ、現在、構想の再構築に取り組んでいます。

Q 下りSICは県道45号主要地方道石原八日市線から京セラ株式会社滋賀八日市工場駐車を大きく迂回し、1.2キロメートル先の入口にやっとたどり着く計画となっている。「SICが



秘めた力を持つ、文化スポーツ学研ゾーン

できればよい」という小さな見識ではなく、大きな視野を持って計画すべきと考えるが、現行の連結道路計画になってしまった経緯は、

A 国、県、警察、NEXCO西日本と協議を行い、特に警察との本格的な協議の中で交通安全について十分な配慮が必要との強い意見があり、現在の道路形態となりました。



新政無所属の会

中村 和広

今後の公共交通について



Q 昨年度末に本市の地域公共交通のマスタープランとなる「東近江市地域公共交通計画」が策定された。

今後の公共交通としてのちよこつとバス、ちよこつとタクシーについて、

①一定の買物をするると帰りの運賃が無料となる、ちよこつとバスの「買物お帰りきっぷ」事業について、提携店舗の現状は、

②「買物お帰りきっぷ」をちよこつとタクシーでも利用できないか。

③介護予防、健康増進のツールとして、公共交通をもっと活用していく計画や事業展開の予定は、

A ①これまで市内1店舗のみでしたが、4月に新たに1店舗参画をしていただきました。今後も引き続き実施店舗の拡大を図っていきます。

②ちよこつとタクシーの認知度向上や利用機会創出につながるものと考えます。実施に当たっ



ては、協力店舗を増やしていくことなど諸課題を精査し、実施の可能性について検討を進めます。

③高齢者が地域で自立した生活を送るためには、外出機会を増やすことが重要であり、公共交通機関の利用促進を図る必要があると認識しています。

次期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画にも位置付けていきたいと考えています。



新政無所属の会

井上 均

地域の豊かな人材を活かそう



Q 中学校の部活動の地域移行について、

①部活動の教育的意義は、

②地域の団体に移行するために、まずやるべきことは、

A ①異年齢との交流の中で人間関係の構築を図り、自己肯定感を高めるなど教育的意義は高いと考えています。

②少子化の影響や教員の過重労働により、今後は部活動の維持が困難になると思われます。移行に当たっては、まず現状の把握と課題の共有が必要と考えています。

Q コロナ禍、国際的な物資争奪戦、異常気象、価格高騰という「農業の四重苦」に対する抜本対策について、

①後継者不足などの抜本的な改善で成長産業化できるのか。

②生産技術などのアドバイザーサービスの実施状況と就農支援センターの必要性は、

A ①もうかる農業の実現によ



部活動の様子

り、成長力のある産業へと発展していけると考えています。

②県農業大学校や県農林漁業担い手育成基金で実施しています。また、就農支援センターは、新規就農者にとって最も重要な栽培技術の習得をはじめ、農地や住居の確保、資金の調達、就農後の経営サポートまでを総合的に支援する必要があると考えており、現在検討を進めています。



日本共産党議員団
異常な猛暑、エアコン購入助成を



Q 異常な猛暑日が続き、国も市も熱中症対策として、「命の危険のある暑さ」「こまめにエアコンの活用」を訴えている。ところが、東京都観察医務院の熱中症死亡のデータでは、東京都の2020年6月から9月の熱中症死者200人のうち187人が屋内で、またエアコン「設置なし」が66人、「故障」が22人、エアコンがあっても使用していないが102人、年齢構成では高齢者が187人を占めている。

熱中症から高齢者の命を守るために、「高齢者世帯のエアコン設置なしや故障で実質なしの状況の解消」と「エアコンがあっても使用していない世帯の解消」の2つの対策が急務と考えるが、

熱中症死亡200人の内訳

(東京都観察医務院2020年6月～9月のデータから)

項目	人数	%
屋内で死亡	187人	94%
エアコンなし	66人	35%
エアコン故障	22人	12%
エアコンがあっても使用していない	102人	54%
年齢	60歳代 23人、70歳代 70人、80歳代 70人、90歳代 24人	94%

状況は。また、生活保護制度の冬季加算と夏季加算は。③エアコン未使用世帯対策として「エアコン電気料助成制度」を創設しては。

Q コストコの開発許可申請に伴う市の指導内容について、①周辺地域の交通渋滞の防止、交通安全対策は。②通学路の安全対策は。③住環境への影響は。



造成が進むコストコ予定地



日本共産党議員団
住民の不安に対し、真摯な対応を



入口となる県道に利用者専用レーンの整備、安全対策施設の設置、看板による交通誘導などの対策が実施されます。



日本共産党議員団
おむつ持ち帰りの廃止を



Q おむつの持ち帰りについて、①6月議会でも、ごも園などのおむつ持ち帰りの廃止を求めたが、市は「調査、検討していく」との答弁だった。来年度予算要求に向けての検討状況は。

②分別収集へ取り組む考えは。③意思形成過程を公表して市民と共有してごみ対策に当たるべきでは。



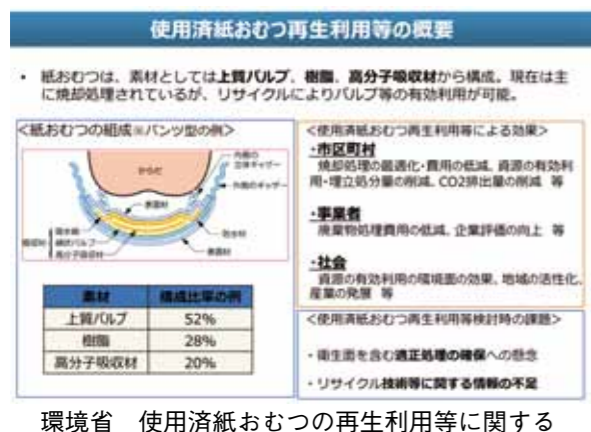
太陽クラブ
今一度防災対策のチェックを



Q 防災情報告知放送システムについて、①設置の状況は。②設置向上の取り組みは。③これまでの事業総額および今後のランニングコストは。

多い自治会館のインターネット環境の実態把握は。②自治会館のインターネット環境を整備する場合の支援策は。

Q プラスチック資源循環法ではプラスチックのリサイクルを進めるとしている。市は「プラスチックゴミの回収、分別収集は重要な課題として考えているが、回収時期や方法については検討していく」としている。



Q 避難所のインターネット環境整備について、①避難場所になっていることが





太陽クラブ
パラスポーツの推進を
安田 高玄



Q 生涯スポーツ振興事業・機械器具費314万6千円が補正予算で計上されている。これは日本パラスポーツ協会の委託事業であり、パラスポーツを多くの方に知っていただき、競技普及に繋げるものである。
A 本市において障害者スポーツへ関心を持ってもらう機会になると思うが、市民への周知方法は。

Q 障害者ニュースポーツといわれるポッチャなど8種類の機械器具が購入されたが、パラスポーツの機械器具の活用と普及方法は。
A ①出前講座をはじめ、ホームページ、広報紙およびLINEへの掲載や市スポーツ推進委員による各地区イベントなどで活用することにより、広く市民への周知を図りたいと考えています。
②滋賀県障害者スポーツ協会との共催で毎年開催しているスペシャルスポーツの広場、サマー



購入されたポッチャの用具

ホリデー事業や出前講座などでパラスポーツ器具の活用を予定しています。
また、パラスポーツ器具はスポーツ課で管理し、各種団体、学校、サークルなどへも貸し出しを行います。
今後は、誰もがスポーツに親しめる機会を提供することにより、パラスポーツのさらなる普及に努めていきたいと思えます。



太陽クラブ
子どもの権利を守る政策を
櫻 直美



Q 市内の児童虐待の緊急一時保護件数が急拡大しているが、①相談員を拡充すべきでは。
A ①今後の状況をみて専門職の配置や増員などについて要望していきます。
②保護者が集まるPTAなどの場で啓発を行っています。

Q 子どもの「遊ぶ権利」について、
A ①不登校の子どものための遊びの場の課題と支援策は。
②夏休みなど長期休暇中の子ども居場所づくりの地区別の申込者数と今後の計画は。
③学校は「子どもの権利」を学び場、守る場になっているか。
A ①児童センターで自由に来館し安心して遊ぶことができる場を提供し、子どもの悩みや保護者の相談にも応じています。
②今年度は定員35人に対し申込



子ども同士の遊びは心身の健康・成長に不可欠

者は八日市31人、永源寺3人、五個荘7人、湖東2人、能登川4人、蒲生6人の計53人でした。今後も事業内容や受入枠の拡充などについて検討していきます。
③子どもたちは「子どもの権利」「人権」について授業などで学んでいます。
学校が一方的に考えるのではなく、子どもたちが自分たちの行動を自分たちで決めていくことが人権を守っていくことにつながると考えています。



太陽クラブ
「我が家の防災計画」推進を
辻 英幸



Q 8月5日に長浜市が記録的な大雨に襲われ、高時川に警戒レベル5相当の氾濫発生情報が発表された。身近なところでの災害発生を我がごととし、この1年間の対策を問う。
A ①長浜市の災害では1748世帯に避難指示が出たが実際に指定避難所には何人が避難したのか。
②昨年8月の豪雨災害時、能登川地区の避難対象110世帯のうち2世帯しか避難しなかったことに対する見解は。
③防災マップ内にある「我が家の防災計画」作成は市民に浸透しているか。
④この1年間での防災マップについての出前講座の実績は。
⑤昨年8月の降雨災害時、テレビに実際の避難対象とは異なる戸数が表示されたことに対して県との協議結果は。

A ①長浜市に確認したところ52人でした。
②避難される方が少なかったのは、深夜における避難指示であったこと、これまで災害の経験が無く危機感がなかったことが要因と考えます。
③市民の作成状況は確認していませんが、その重要性を伝えていきたいと考えています。
④1年間に21回開催しました。
⑤当時のシステムでは町の全世帯数と全人口の表示でしたが、より対象地域を限定し表示できるよう改善しました。



豪雨により冠水した市内道路(R3.8)

市民と議会の意見交換会

東近江市議会では、議会の活動を市民の皆さまに知っていただき、声を聞かせていただくために、「市民と議会の意見交換会」を開催します。皆さまのご参加をお待ちしております。

- ◆日時：令和5年1月28日(土) 午後2時から4時まで
- ◆場所：五個荘コミュニティセンター (東近江市五個荘小幡町318)
- ◆内容：市議会の活動報告、中学生議員による発表、意見交換会



全議員賛成で特別委員会を設置

9月定例会で(仮称)黒丸S I C・文化スポーツ学研ゾーン整備計画調査特別委員会を設置しました。

黒丸サービスエリアにスマートインターチェンジを設置するに当たり、周辺の交通量増大に伴う道路拡幅や交差点改良などの対策が必要不可欠であることから、市に対して、①現在予定している交差点改良については確実に整備を行うこと②主要地方道石原八日市線の渋滞緩和対策が今後必要となってくることから県と十分協議し対応することなどを強く要望しました。

今後も進捗状況を確認しながら、市とともに最適な施設整備を進めていきます。



総務常任委員会

10月4日、5日に兵庫県の福崎町と三木市、徳島県上勝町を訪れました。

福崎町では「福崎駅前観光交流センター」を視察。本市でも八日市駅前に観光交流施設が来春オープンする予定で、今議会で指定管理者の議決が行われたところ。指定管理者による運営であること、駅を生かした観光や交流の拠点であることなど共通点も多く、先行事例として参考になりました。

三木市では「縁結び課」を視察。若者の定住移住を図るため立ち上げた婚活支援団体では、設立から10年で100組以上が結婚し、離婚は0組。一歩踏み込んだ支援など、充実した体制の成果がうかがえます。同様の事業を行っている本市でもさらなる推進につながればと感じました。

人口1380人。「四国一小さな町」上勝町では、和食の料理を飾る「葉っぱビジネス彩」

と、「ゼロ・ウェイスト宣言」を日本で初めて行い、町民自らがごみを45種類に分別し、可能な限りリサイクルしている環境への取り組みを視察しました。町の特性や資源を生かした革新的な事業推進は印象的でした。



福崎駅前観光交流センターの視察

産業建設常任委員会

10月4日、5日に神戸市、丹波篠山市、京都市を視察しました。

神戸市の兵庫楽農生活センターは大学の跡地を活用した「農」を学び・体験、実践できる拠点施設です。「楽農生活」と題した農林水産業体験や農山漁村との交流などを通じて食や農に親しむことを提唱しています。また、就農支援などの人材育成や学習支援にも力を入れており、特に就農コースの卒業生の就農率は8割を超えるとのこと。

丹波篠山市では、集落に点在する空き家を再生しネットワーク化した宿泊施設を訪れました。本市でも文化財を活用するため近江商人屋敷外村宇兵衛邸を宿泊施設として開業したばかりであり、先行事例として大変参考になりました。

京都市の総合就業支援拠点京都ジョブパークでは、正規雇用を望む若年者をはじめ、中高齢



丹波篠山市の分散型ホテルの研修

者や女性、障害のある方など、働きたい住民の就業活動や中小企業の人材確保をサポートされています。運営主体が公共・労働組合・民間企業を中心に関係団体が加わった「地域で支える共同運営方式」であり、今後の就業支援のあり方について参考になりました。

福祉教育子ども常任委員会

7月28日、29日と愛知県を訪れ、豊橋市の「子育てしやすいまちづくり」、西尾市の「読書通帳」、日進市の「放課後子ども教室」について行政視察を行いました。

豊橋市では企業による子育て支援への取り組みを促進するため「豊橋市子育て応援企業」の認定・表彰を行い、その事例を広く紹介することにより「子育てしやすいまちづくり」を進めています。

西尾市では図書館の利用促進と子どもの読書活動を推進するために「読書通帳」を導入しています。実際に導入を開始した令和2年10月末から親子での利用が増加しており、本に触れ合う機会の創出になっているようです。

日進市では、「放課後子ども総合プラン」として、放課後などを安全・安心に過ごすため、就労などにより保護者が昼間家庭にいない児童に、適切な遊び

および生活の場を提供する「放課後児童クラブ」と、希望する児童を対象として学習や体験、活動の機会を提供する「放課後子ども教室」で、さまざまな共通プログラムを一体的に行う取り組みを実施されていました。今回、学んだ先行事例を今後の活動に活かしていきたいと思っています。



読書通帳を導入した西尾市立図書館

令和4年9月定例会 議案の審議結果

○・・・賛成 ×・・・反対 (西澤議長は採決に加わらない)

議案等の名称	会派名	東近江市民クラブ										太陽クラブ			日本共産党		公明党		新政無所属		無党派							
		賛成・反対	森鉄兵	浅居笑	山本直彦	青山孝司	鈴木則彦	西村和恭	田井中三	森田徳治	西崎彰	西澤由男	和田喜藏	市木徹	大橋保治	櫻直美	辻英幸	戸嶋幸司	安田高玄	廣田耕康	山中一志	田郷正	吉坂豊	竹内典子	中村和広	井上均	大洞共一	
議案第43号 令和3年度東近江市一般会計決算の認定について	認定	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号 令和3年度東近江市国民健康保険(事業勘定)特別会計決算の認定について	認定	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号 令和3年度東近江市国民健康保険(施設勘定)特別会計決算の認定について	認定	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号 令和3年度東近江市後期高齢者医療特別会計決算の認定について	認定	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号 令和3年度東近江市介護保険特別会計決算の認定について	認定	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号 市道路線の認定につき議決を求めることについて	可決	21・3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案第2号 世界平和統一家庭連合(旧統一教会)と政治家との癒着・政治の歪みを買収するため徹底究明することを求める意見書	否決	6・16	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
請願第4号 安倍元首相の「国葬」に反対する意見書提出を求める請願	不採択	5・17	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

その他の議案等は全会一致で可決・認定・同意・採択されました。議案等の詳細は「東近江市議会」で検索してください。

次回 12月定例会

日	月	火	水	木	金	土
11/27	28	29 開会	30	12/1	2	3
4	5	6	7	8	9 一般質問	10
11	12 一般質問	13 一般質問	14	15 総務・福祉教育 子ども委員会	16 福祉教育子ども・ 産業建設委員会	17
18	19	20	21 予算決算 委員会	22	23 閉会	24
25	26	27	28	29	30	31

※ 各日とも、午前9時30分から開始します。
※ 日程および時間は変更になる場合があります。

議会の傍聴

東近江市議会では皆さまの傍聴をお待ちしています。
ご希望の方は、傍聴される当日に東近江市役所本館3階の議会事務局窓口までお越しください。

テレビ中継

本会議の中継は東近江スマイルネットのコミュニティチャンネルでご覧いただけます。

インターネット中継

東近江市議会では、本会議の模様をインターネットでライブ配信(生中継)・録画配信しています。スマートフォン・タブレット端末でもご覧いただけます。

議会だよりの発行

東近江市議会だよりは、2月、5月、8月、11月に発行しています。

東近江市議会だよりに検索機能



11月から、新しい編集体制となりました。
これからも「手に取りたくなる」「読みたくなる」議会広報紙を目指し、研さんを重ねてまいります。今後とも愛読いただきますようよろしくお願いいたします。

編集委員の紹介

戸嶋	鈴木	辻	森	中村
幸司	則彦	英幸	鉄兵	和広
委員	委員	委員	委員	委員
浅居	吉坂	西村	森田	廣田
笑	豊	和恭	徳治	耕康
委員	委員	委員長	副委員長	委員

編集後記

びわこジャズ東近江や二五八祭り、各地区においてもさまざまなイベントが目白押しだったこの秋。コロナ禍で多くのイベントが中止に追いやられていたこの2年間のうっぴんを晴らすかのように、どのイベントでも本当に多くの客でにぎわっていたように感じます。

先日、友人のフェイスブックにどこかの高校の書道部が書いた「検索だけじゃ出会えないものがある」という作品が掲載されていました。

今の時代、スマホ一つで世界中の人々とながれ、買い物が進ませられるようになりました。しかし、それだけではどこか物足りないことにも気づき始めているのではないのでしょうか。

秋から冬へ、季節の変化を大いに楽しむ自然豊かな我がまち東近江。ふらっと出かけてさまざまなものに出会ってください。

戸嶋 幸司

もっと身近に「議会だよりを



無料アプリ「マチイロ」で「議会だよりの配信サービスを開始しています。市の広報紙や行政情報もご覧になれるので、ぜひご利用ください。

